

なす からすやま 広報

No.130

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



めざせ！那須烏山ジオパーク……………	2
第3回市議会定例会……………	8
「実践型地域雇用創造事業」再び……………	10
南那須支部操法大会……………	12
山あげ祭が本番間近！……………	14
小・中学校・高校で運動会／体育祭盛んに…	16
まちのわだい……………	18
インフォメーション……………	20
シリーズ 烏山高校ってこんなところ！…	22

2016



7
July

夏だー！プールだー！（6月11日、南那須B&G海洋センター）

めしせ！

那須烏山 ジオパーク

～里山と里川をめぐるジオのものがたり～

■ジオパークとは？

ジオ（地球）に関わるさまざまな自然遺産、たとえば、地層・岩石・地形・火山・断層などを含む自然豊かな「公園」のことです。山や川をよく見て、その成り立ちに気付くことに始まり、生態系や人々の暮らしとのかかわりまでをつなげて考える場所です。足元の岩石から頭上の宇宙まで、数十億年の過去から未来まで、海や山の大自然からそこに暮らす生き物と人々までを一つにして考える。つまり地球を丸ごと考える場所、それがジオパークです。

みなさんは、那須烏山市でジオパーク構想事業が進んでいることをご存知ですか？

市では、6月16日(木)、日本ジオパークネットワークの準会員に加入しました。平成29年度には正会員の認定を目指しています。

今月号では、平成28年3月に策定した「那須烏山ジオパーク構想」を基に、そもそも「ジオパーク」って…？という疑問から、那須烏山ジオパークの見どころ、今後目指すべきジオパークのあり方について紹介します。

大地の成り立ちと 人と自然の関わりをテーマに

本市には、約1500万年前から約900万年前にかけての新第三紀の海進海退期の地層が崖となって直接地表に現れている箇所が各地でよく見られます。

海生産の貝やウニ、魚のうろこなどの化石も身近な場所で見られ、1978年(昭和53年)には、大金バイパスの橋



大金クジラの化石発見当時の発掘の様子。

桁工事でヒゲクジラの仲間のオオガネクジラが発見されています。河川には、段丘地形や蛇行地形などの川(水)がつくった地形がよく残っており、地学的な学習の場として最適な地であるといえます。

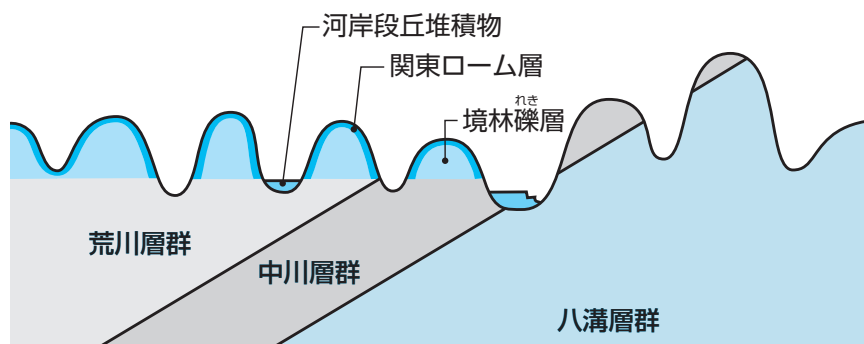
また、この地域は傾斜が急で険しい山岳地がなく、丘陵地で生活しやすい環境であるため、古くから人々が生活を営んできました。

そこで、里山と里川の自然環境を背景としたジオパークを作り、水がつくってきた大地の変遷の歴史を感じとり、自然と人々の関わりを学べる場として「那珂川流域を散策しつつ、大地の成り立ち、そして人と自然の関わりを学ぼう」をテーマに、那須烏山ジオパーク構想を策定しました。

那須烏山ジオパークの 4つの見どころ

那須烏山ジオパーク構想の見どころは、「中生代から現在までの地層」「海の時代の地層」「川や水が作った現在の

図：那須烏山市周辺の地層



関東ローム層	〔新生代〕第四紀の風化火山灰でできた粘土質土壌(風成層)
河岸段丘堆積物	新しい河川堆積物(陸成層)
境林礫層	〔新生代〕 第四紀の河川堆積物(陸成層)
荒川層群	〔新生代〕 新第三紀に海に堆積して固まった砂岩・泥岩・凝灰岩など(海成層)
中川層群	〔新生代〕 新第三紀に主に陸上の火山活動によってできた玄武岩や安山岩などの火山岩や火山砕屑岩類(陸成層)
八溝層群	〔中生代〕 ジュラ紀から白亜紀にかけて形成された砂岩・頁岩・チャートなどからなる付加体(海成層)

の地形」そして、「人と自然の関わりが分かる遺跡や産業」の4つです。

この地域の大地には、中生代から現在までの間に、2度の海の時代を経て陸になった環境の変化が記録されていて、大地の成り立ちが分かる地層があります。特に新第三紀の数百万年の間

にわたる海の時代の地層(右図…荒川層群)は、国内の中新世の海成層として最も研究が進んでおり、他地域の層序の年代の基準となりうる地層です。

約百万年前に形成された境林礫層(陸成層)は、河川が運んだ礫層です。その上にローム層が堆積するとともに、

河川の水の働きによって削られながら現在の地形が形作られてきました。その証拠として、市内には、川の蛇行地形や滝地形、河岸段丘などの水によって作られた地形がよく残っています。

また、市内には地形や地質を利用して人々が生活してきた跡が数多く見られます。古墳時代の横穴墓、江戸時代の用水トンネル、谷津田、終戦直前に戦車を製造していた地下工場跡（現・どうくつ酒蔵）、くつ酒蔵、垂炭やマンガン鉱の掘削跡など多種多様な人の営みが見えてきます。

14エリアのジオサイトと代表的なジオポイントを紹介

那須烏山ジオパーク構想では、市内を14エリアに分け、それぞれにポイントとなる個々の場所を設定しました。ジオパークの中では、そのエリアのことを「ジオサイト」、その中の個々の場所を「ジオポイント」と呼びます。

ここでは、代表的なジオポイントを紹介します。

①向田地域 籠山^{かごやま}

那珂川右岸側の林内に巨大な礫岩が林立する場所があります。この巨石群を回れるように、所有者が山道を整備しています。山の頂上は霞ヶ岳と呼ばれ、那珂川と荒川の合流点付近を見渡すことができます。

②森田小埜地域 猿久保田んぼ公園

ここでは、谷津や谷戸と呼ばれる底面が平らで奥の深いならかな谷の地形がよく残っています。その地形を利用し、人の手によって作られたため池、谷津田、



終戦直前に戦車を製造していた地下工場跡（現・どうくつ酒蔵）。

用水路、雑木林、スギ・ヒノキの植林地など様々な環境がコンパクトに詰まった里山的景観が見られます。様々な環境があることで、蛙やほたる、赤とんぼなどが生息する生態系ができています。

③森田小埜地域 小埜自然環境保全地域

栃木県指定小埜自然環境保全地域は、荒川層群小埜層と典型的な荒川の穿入蛇行地形^{だこう}が見られ、とちぎ県版レッドリストで特筆すべき地形・地質に挙げられています。



④ 曲田大里高瀬地域 大里貝化石密集層

荒川周辺には貝化石密集層が見られる露頭が所々にあります。ジオパークは、資源の保護と活用を図る取り組みを大切にしています。大事に保護しながら貝化石が普通に見られる環境を、後世に引き継いでいきます。

⑤ 曲田大里高瀬地域 横ずれ断層

大里の万行地区には逆川の旧河道と
思われる田んぼと削り残された小さな

高まりが見られます。写真の崖の中央には、大地が左右にずれる横ずれ断層があります。どの位のずれがあるのかは未調査で解明されていません。

⑥ 大金付近 栄出の滝

長者川と荒川の合流点に栄出の滝があります。長者川と荒川では水量の違いにより、川床の岩を削る速度が異なります。そのため、滝ができたと考えられています。

⑦ 大金付近 荒川の蛇行

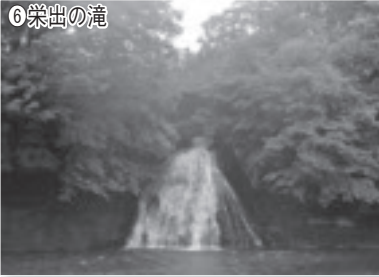
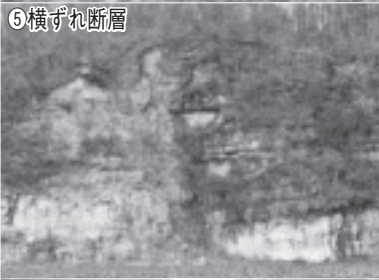
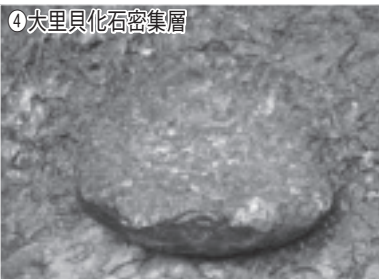
大金から小埜にかけての荒川は、人の手によって流路を変えられることなく、地形に応じて曲がりくねっており、自然な川の姿を見せています。この蛇行は穿入蛇行と呼ばれます。この蛇行を利用して、下の田に水を引くためのトンネルが各所に掘られています。

⑧ 十二口(横穴墓と貝化石密集層)

貝化石密集層が沢に沿って200mも見られます。荒川沿いには、古墳時代の横穴墓があり、市の史跡に指定されています。海の時代に堆積した岩は掘りやすかったため、県内の横穴墓はこの地域に集中しています。

⑨ 藤田地域 ブナ

約1万年前以降の気候変動によるブナ帯域の変遷過程で生き残ってきたブナが荒川の北向き斜面に生育しています。普通、ブナは1本立ちをし



⑩ 朝風の旧河道と河岸段丘



⑧ 十二口



⑪ 鏡林礫層と入江野層の不整合



⑨ ブナ



ています。ここでは、薪炭林として伐採が繰り返されてきたため、株立ちになっています。

⑩ 藤田地域

朝風の旧河道と河岸段丘

この場所は、朝風の集落を取り囲むように水田が広がっています。水田は荒川の水が削った旧河道で、その外側に河岸段丘があります。河岸段丘には滝も見られます。

⑪三箇小白井鴻野山地域

境林礫層と入江野層の不整合

海成層の荒川層群入江野層は約900万年前の地層です。その上に、約100万年前に川によって運ばれて堆積した陸成層の境林礫層が堆積しています。入江野層と境林礫層とは、数百万年の間があり、その間の地層が溜まっていることから、不整合と呼ばれます。

⑫龍門の滝

龍門の滝は、高さ20m、幅65mにわたって流れ落ちる滝です。那珂川や江

川下流沿いには中生層と中川層群の地層の境が露出する場所があり滝ができています。成因は解明されていませんが、川の水が流れることで、岩の硬さの違いから滝ができたと考えられています。

⑬熊田下川井志鳥地域 シモツケコウホネ

シモツケコウホネは、栃木県内の水田用水路に広く分布し、人の営みに適応して生きてきたと考えられる水草です。現在は、河川改修や農地改

良で生育地がほとんど無くなり、種の保存法で採取や販売が禁じられ、罰則も定めて保護するほど絶滅が危ぶまれる植物です。県内に数箇所生育する内の1箇所が市内にあります。

⑭熊田下川井志鳥地域 江川岩川の河床の微地形

江川や岩川の河床の岩盤には細い筋が見られます。どのような作用でこの地形ができるのかまだよく分かっていません。水量や水の凍結などが関係していると考えられています。

⑮熊田下川井志鳥地域 江川の貝化石

江川や岩川沿いにも、貝化石が出る地層があります。この貝はムカシチサラガイといい、他地域では稀ですが、那須烏山地域では多産します。

⑯烏山市街地東部 耕便門

初音の崖下に耕便門の碑があり、市の史跡に指定されています。この碑のそばには新田開発のために文政年間の1年3ヶ月という短期間で掘られたトンネルの出口があります。このトンネルにより、約40ヘクタールの水田が開かれました。

⑰滝田地域 滝田の大滝

この場所は、龍門の滝と同じ地質が見られ、高さ、幅とも8mほどの大きな滝ができています。西側には、海成層の荒川層群小塙層が分布しており、柔らかな岩のため、なだらかな谷が見られます。

⑱小塙層・中川層群

⑲横枕の里山里川

⑳興野の小扇状地

㉑落石の中生代の地層

㉒中山大桶地域 小塙層・中川層群

大桶運動公園南側の崖には、古い時代から中川層群、荒川層群小塙層、新しい砂礫層の時代の違う3つの地層が見られます。陸、海、陸へと変化した環境を示す場所です。

㉓那珂川東部地域 横枕の里山里川

横枕の小木須川、大木須の木須川沿いには、荒川江川沿いとは異なつた里山里川が広がっています。この川沿いにはゲンジボタルが生息しており、良好な自然環境があります。

②那珂川東部地域 興野の小扇状地

那珂川に注ぐ小河川は土砂を下流に運び小さな扇状地を作っています。水はけの良い扇状地ではソバの栽培が盛んで、おいしいソバが収穫できます。

③那珂川中部地域

落石の中生代の地層

落石周辺の那珂川左岸には、中生代の地層が露出しています。地球の表面には十数枚のプレートと呼ばれる岩盤があります。このプレートとプレートがぶつかり、一方が下方に沈み込む所で表面の岩盤が削り取られて残ったものを付加体^{ふかたい}といいます。落石周辺の地層は、この付加体といわれています。

新たに推進協議会を設立 日本ジオパーク認定を目指して

平成27年5月、日本ジオパーク認定に向けて市では「那須烏山市ジオパーク基本構想等検討委員会」を立ち上げ、基本構想を策定。平成28年5月には、実際の運営団体として「那須烏山ジオパーク構想推進協議会」を設立しました。この協議会は、市内の地域おこし団体や有識者などで組織されるもので、平成29年度に、日本ジオパーク認定申請を目指し活動を展開します。

主に、基本となるジオパークやジオサイトに関する調査研究、ジオサイトの看板設置や歩道の整備、現地観察会、ジオパークガイド養成講座、参画団体による各種事業などを開催し、構想の



那須烏山ジオパーク構想推進協議会の設立総会(5月24日)。

具体化を図っていくこととしています。また、今後、ジオパーク事業に対する市民の理解と参加を呼びかけるための住民説明会の開催などを予定しています。

地域住民に愛される ジオパークに向けて

将来的には、那須烏山ジオパーク事業を推進することにより、次の4つの効果を期待しています。

①教育を通して子どもたちが地域の特徴を学び、郷土の良さを知ること、郷土愛が育まれ、郷土に誇りを持ち、地域の大切な資源を残せるようになります。
②ジオパークの活動を通して今までの水害や東日本大震災で受けた被害を学び、地域の地形や地質を知ることにより、水害、震災時の対応など大災害の教訓を生かせるようになります。

那須烏山ジオパーク構想教室 今後のイベント情報！

◇第5回 8月11日(木)

「栃木県内に見られるコウホネ類について」

◇第6回 9月10日(土)

「ジオパークの先例に学ぶ:天草ジオパーク」

◇第7回 12月10日(土)

「化石のでき方など化石の話」

※場所はすべて、烏山公民館。時間は、午前10時～正午まで。

※参加申込など詳しくは、今後発行する「お知らせ版」もしくは「市ホームページ」をご覧ください。

■問合 文化振興課 ☎88-6224



教育・研究の場として(烏山小見学会)。

③教育・研究のフィールドとして、交流人口が増えることで、地域資源の更なる情報の集積が進み、地域の活性化にも繋がります。
④郷土に根差した産業をジオパーク事業で取り上げることで、既存の産業の振興や新たな産業の創出など、地域の活性化に寄与し、その結果、人々が日々の営みを続けられる活力に満ちたまちづくりにつながります。

しかし、実現するには、地域住民の理解や協力が必要です。今後、ジオサイトの保護のための条例制定やガイドの担い手育成を行ったり、地域振興と交流人口の拡大のためのジオサイトツアーを行うなど、地域振興と交流人口の拡

大を図り、地域に愛される那須烏山ジオパークを作ることを目指します。

第3回市議会



平成28年度補正予算・条例の一部改正など10議案を審議

新議長に渡辺氏・副議長には久保居氏を選出

平成28年第3回市議会6月定例会が6月7日(火)から16日(木)までの10日間で開催され、新議長に渡辺健寿氏、副議長に久保居光一郎氏が選出されました。また、議会常任委員会など議会人事の選任が行われたほか、平成28年度補正予算や条例の一部改正など10議案が原案どおり可決され、2件を報告しました。
なお、詳しくは、議会事務局 ☎ 0287-18817114 までお問い合わせください。

各委員会の委員を選任

総務企画・文教福祉・経済建設の各常任委員会、議会広報委員会、議会運営委員会、そして、今回新設された議会改革調査特別委員会の委員がそれぞれ選任されました。そのほか、南那須地区広域行政事務組合議会議員が選出されました。各委員名は次のとおりです。(◎は委員長。○は副委員長。なお、敬称は省略)

■常任委員会

【総務企画】◎沼田邦彦、○滝口貴史、相馬正典、川俣純子、佐藤昇市、中山五男

【文教福祉】◎田島信二、○小堀道和、望月千登勢、渋井由放、渡辺健寿、樋山隆四郎

【経済建設】◎平塚英教、○矢板清枝、久保居光一郎、高德正治、高田悦男、小森幸雄

■議会広報委員会

◎相馬正典、○望月千登勢、小堀道和、滝口貴史、矢板清枝、渋井由放、久保居光一郎、平塚英教

■議会運営委員会

◎高田悦男、○中山五男、相馬正典、小堀道和、田島信二、沼田邦彦、平塚英教

■議会改革調査特別委員会

◎中山五男、○高德正治、他議員16人

■南那須地区広域行政事務組合議会議員 渋井由放(新)、渡辺健寿(新)、佐藤昇市(継続)、沼田邦彦(新)、中山五男(継続)、小森幸雄(継続)

なお、JR烏山線利用促進対策特別委員会及び、行財政改革調査特別委員会の委員に変更ありません。

任期満了に伴う

監査委員の選任

市監査委員が選任され、任期満了となる岡敏夫氏を引続き委員として選任することが同意されました。また、議会議員からは、渋井由放氏の退任に伴い新たに川俣純子氏を委員として選任し同意されました。



武道館の建設準備が進められる
市役所南那須庁舎隣公園跡。

議決事項

新武道館建設工事(建築工事)請負契約を2億8944万円で、荒川・荒井特定建設工事共同企業体と締結することになりました。

平成28年度予算を補正

一般会計の歳入・歳出をそれぞれ5610万9千円増額し、補正後の予算総額を115億4010万9千円としました。
主な内容は、ふるさと応援基金費として寄附金を積み立てするため1058万8千円、昨年に引き続き実施する低所得者への臨時的な給付措置として臨時福祉給付金事業費2449万円と、障害・遺族基礎年金受給者を支援するため年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費773万7千円、歴史民俗資料館施設整備費として旧七合中学校の収蔵資料を整理するための168万6千円です。

条例の一部改正

・地方税法施行令等の一部改正に伴い、固定資産税において、再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例措置について、「わがまち特例」を導入した上、

議長就任あいさつ

第8代議長

渡辺健寿議員

6月定例会において市議会議長に就任いたしました。たいへん光栄であると共に、その責任の重さを痛感しております。

議会と執行部は車の両輪。少子高齢化に伴う福祉対策や、厳しい財政状況など課題山積のなかで地方創生を推進することになります。市の将来を見据え、執行部と大いに議論し、施策が滞ることなく進むよう、緊張感あるなかでも公平、中立を旨として円滑な議会運営に努めます。

また、今議会で議会改革調査特別委員会が発足し、開かれた議会を目指してまいります。

本年11月には国指定重要無形民俗文化財の「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録される見通しです。この機会を活かし、地方創生、まちづくりの核となるよう念じております。

市民の皆様のご理解ご協力をお願いしご挨拶と致します。



適用期限を2年延長するため、「市税条例」の一部を改正しました。

・地方税法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、低所得者の国民健康保険税の軽減措置の対象を拡大するため、「市国民健康保険税条例」を一部改正しました。

・建築基準法施行令及び地方自治法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正され、保育所な

どの特別避難階段の構造が改正されたことから「市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」を一部改正しました。

専決処分を承認

平成27年度予算を補正

一般会計の歳入・歳出を2576万3千円増額し、補正後の予算総額を126億7178万7千円としました。

主な内容として、歳入は、地方創生加速

化交付金の額の決定に伴う減額、財政調整基金繰入金金の減額などです。歳出は、医療給付金の伸びに伴う国民健康保険特別会計繰入金2500万円の増額などです。

次に、国民健康保険特別会計では、歳入・歳出を2500万円増額し、補正後の予算総額を41億7万1千円としました。

主な内容として、歳出は、一般被保険者の医療費の伸びによる保険者療養給付費2500万円、葬祭費30万円の増額、出産育児一時金30万円の減額です。歳入は、一般会計からの繰入金2500万円を計上しました。

条例の一部改正

地方税法施行令等の一部改正に伴い、固定資産税の非課税対象となる独立行政



子どもから大人まで健康で元気
いっぱいに住ごせるまちづくりのために。

法人の名称変更によるものや、新築住宅等に対する固定資産税の減額の規定の適用を受けようとする者がすべき申告において、熱損失防止改修工事に関する補助金等の書類を追加するもの及び市たばこ税に関する経過措置を改正するため、「市税条例」を一部改正しました。

その他

・平成27年度一般会計繰越明許費繰越計算書を調製し、国の地方創生加速化交付金対象事業10事業2億795万1千円、行政情報化推進費1609万1千円、年金生活者等支援助臨時福祉給付金事業費1億2541万9千円、道路整備費2745万8千円、河川総務費1211万9千円、中心市街地整備事業費4885万9千円、烏山公民館施設整備費820万円、武道館施設整備費7190万円を繰り越したことを報告しました。

・損害賠償の額の決定及び和解に関する専決処分1件が報告されました。

・市議会議長あてに提出された「南那須・大金台林間住宅地内の街路樹管理についての請願書」と「市道曲畑森田線の道路整備についての請願書」を採択し、請願者へ通知しました。

また、「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情書が採択され、関係行政官庁あてに意見書を提出しました。

地域住民の雇用を創出します！

「実践型地域雇用創造事業」再び

市、那須烏山商工会、那須南農業協同組合、那須南森林組合等12団体による那須烏山市地域雇用創造協議会（大谷範雄代表）が提案した「実践型地域雇用創造事業」構想が、厚生労働省から採択され、今年度から3年間、再び事業を実施することになりました。

6月17日（金）には、厚生労働省栃木労働局の佐野将司職業安定部長が市役所を訪れ、大谷範雄市長に採択通知を手渡しました。この事業は、雇用機会が不足している地域の支援策として、国が効果の高い構想を提案した協議会に事業を委託するもの。本市は平成25年度に同事業の採択を受け、同年7月から28年3月の委託期間で目標者数123人のところ136人の雇用を創出しました。

今年7月から改めて厚生労働省の委託を受け、新規事業として取り組むことになった事業名は、「なすからの魅

佐野職業安定部長（右）から採択通知を受け取る大谷市長（左）。



力、再発見！未来へつなぐ雇用創造プロジェクト」。「農林業分野」や「地域ブランド開発分野（食と観光）」を重点項目に掲げています。農産物の生産だけでなく加工や流通までを手がける6次産業を担う人材を育成すること。そして、地域資源を活用し、新商品や観光コースの開発などを行い、雇用機会の拡大を目指します。3年間の総事業費は約1億1千万円、117人の新たな雇用創出を目指します。

事業の内容は、次の4つです。

- ①雇用拡大メニュー（事業主向け）
 - ・スマートフォン等の活用による販路拡大に必要な知識を学ぶセミナー
 - ・農産物加工施設やレストランカフェ等を創業するためのノウハウを習得するセミナー など
- ②人材育成メニュー（求職者向け）
 - ・農林産品の高付加価値化に係る加工技術や販路拡大について学ぶセミナー
 - ・事業主が求めるビジネススキルを向上させ、即戦力となる人材を育成するセミナー など
- ③就職促進メニュー
 - ・各種セミナー等の情報提供及び合同就職面接会
- ④雇用創出実践メニュー
 - ・梨、栗等の農産物を活用した「地域ブランド開発（新商品・メニュー開発）」
 - ・那珂川等の自然や近代化遺産を活用した「地域ブランド開発（観光コース開発）」

■商工観光課

☎0287-83-1115

昨年、人口減少問題などを解決するため、攻めの部隊として設置した「営業戦略推進部隊」の活動が2年目を迎えました。この部隊は、大谷範雄市長を隊長とし、20代から30代までの若手職員による隊員16人のほか、マネージャーとして4つの課の課長、事務局など

向上に向けて、JR宇都宮駅やJR大宮駅でのPR活動を行う予定です。また、PRの際に、同部隊の昨年度の活動でJR東日本の協力を得て制作した「烏山線金運きっぷ」をイベントのノベルティとして使用することとしています。この切符は、大金駅・宝積寺駅間で制作したものの。両駅の名前が縁起が良いことから、JR烏山線の知名度や利用者向上などを

営業戦略推進部隊 活動します！

どの計28人で構成されます。

今年は、観光交流や移住定住ではなく、地域との関係をつくる、いわゆる関係人口づくりを目標とし、「那須烏山市のファンを一人でも多く作る」をテーマに活動を展開します。

7月12日（火）、15日（金）には、山あげ祭の誘客を目的に限定で配布を予定しています。7月1日（金）には、大金駅脇の「大金神社」で祈

祈が行われました。今後は、昨年に引き続き、市の魅力情報発信、定住に関するイベントや様々な場へ向

向き、本市のPRをする予定です。

山形県高畠町で

市民78人がハイキング

恒例となった市民ハイキング（スポーツ推進委員会主催）が、6月5日（日）に開かれ、市民78人が山形県高畠町を訪れました。

陰があり、心地よい風を感じながらさわやかな汗を流しました。

また、旧高畠駅では、特産の高畠石を用いて昭和9年に建てられた駅舎のほか、廃線時に走っていた車両なども展示されており、カメラのシャッターを切る参加者の姿が見られました。



旧高畠駅を見学する参加者。

いきいきサロン交流会

295人が元気に楽しく介護予防

市では、現在38ヶ所で「いきいきサロン」を開いています。

このサロンは、主に65歳以上の人を対象に体操やレクリエーションを通して、介護や閉じこもりの予防を図るために毎年開催されているものです。

6月20日(月)には、南那須公民館で南那須地区、23日(木)には、烏山体育館で烏山地区の交流会がそれぞれ開かれ、295人が参加しました。

交流会は、いきいきサロンサポーターの指導のもと、オリジ

ナルの準備体操やボールを使ったレクリエーション、合唱などを楽

しみながら交流を深めました。



上…レクリエーションを楽しむ参加者(南那須地区)
下…体を使ったじゃんけん大会(烏山地区)。

健康長寿プランナーによる

脳元気教室で認知症を予防

6月9日(木)、今年度2回目の「脳元気教室」が保健福祉センターで開かれ、30人の地域住民が参加しました。

これは、昨年、地方創生事業の一環で養成された健康長寿プランナーにより企画されたもので、認知症の啓発や予防することを目的に今年度から始まった教室です。

この日は、那珂川町在住のシンガー岡倉ゆかりさんを講師に

招き、「誰にでもできるコーラス」をテーマとした教室を開催。

参加者は、岡倉さんに声の出し方や姿勢などを教わりながら、リラクセスした雰囲気の中で歌を歌っていました。1時間半の教室を終えた参加者からは、「普段、自宅で大きな声を出して歌うことができないから気持ち良かった」と大好評でした。

また、同教室は、12月まで月1回開かれる予定となっています。



リラクセスした雰囲気で行われたコーラスの教室。

那須烏山市教育委員会会報 - 28年度『第1四半期』4月～6月 -

第5回教育委員会(4月22日(金))

- 区域外就学の許可を承認
- 平成28年度那須烏山市奨学生の決定を承認
- 平成28年度那須烏山市立小中学校主任等を承認
- 平成28年度那須烏山市立小中学校評議員の委嘱を承認
- 平成28年度市非常勤講師等の配置を承認
- 那須烏山市社会教育指導員の任命を承認
- 那須烏山市武道館建設工事を承認
- 那須烏山市文化財保護審議会委員の任命を承認

第6回教育委員会(5月20日(金))

- 就学指定校の変更を承認
- 要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認
- 平成28年度那須烏山市立つくし幼稚園評議員の委嘱を承認
- 那須烏山市立南那須中学校体育館改修工事を承認

○平成28年度那須烏山市教育費予算の補正を決定

第7回教育委員会(6月24日(金))

- 就学指定校の変更を承認



▼その他の出席

- ・4月8日(金) 中学校入学式
- ・4月11日(月) 小学校入学式
- ・4月12日(火) つくし幼稚園入園式
- ・5月14日(土) 七合小春季運動会
- ・5月28日(土) 南那須中・烏山中体育祭
- ・6月4日(土) 江川小・境小・烏山小・南那須特別支援学校春季運動会
- ・6月16日(木)～18日(土) スーパーティーチャー育成事業視察研修(福井県福井市)

■学校教育課 ☎0287-88-6222